

逆向きバイバイの普通バイバイへの発達

楡の会こどもクリニック

石川 丹

手を振って別れの挨拶をする際、手の平を相手に向けて左右に振るのが普通です。手の平を自分の方に向けて振る場合を逆向きバイバイと称します。

逆向きバイバイは自閉症の子に特有と言う医師¹⁾がいる一方、健康なお子さんでも1歳前ごろには逆向きに手を振る事があると記している心理学者²⁾もいます。

本稿では、筆者の診察室を出て行く時に逆向きバイバイをした52人の子について、その特徴と発達経過について述べます。

I. バイバイ手振りのバリエーション

子どもたちのバイバイ動作には実に様々でユニークなバリエーションがありました。

1. 普通バイバイのバリエーション

手の平を相手に向けて振る時、左右に振らない形が色々観察されましたのでそれぞれを以下のように名付けました。

腕を上下に振る“上下バイバイ”、手招きするように手首を上下に振る“手招きバイバイ”、肘から先の前腕を左右にねじる“ねじりバイバイ”、手を握ったまま左右に振る“グーバイバイ”、丸いドアノブをすぼめ手で持って廻すような“すぼめ手バイバイ”、すぼめた手を上下に振る“すぼめ手上下バイバイ”、お相撲さんが手刀を切るように上下に振る“手刀バイバイ”、そしてハイタッチでした。

2. 逆向きバイバイのバリエーション

逆向きバイバイにもいろいろありました。

手の平を自分に向けて手首を前後に振る“逆前後バイバイ”、手の平を自分に向けて手首を内側にねじって振る“逆横向きバイバイ”、手の平を自分に向け親指を上に向け前後に振る“逆横前後バイバイ”、汽車ごっこのように片手を肋骨の下あたりに置いて上下に振る“シュッポシュッポバイバイ”、手を垂らして手の平を自分に向けたまま前後に振る“逆下向きバイバイ”、筆者が振っている手

の平に逆向きバイバイの形の手の甲を押し付けて来る“逆向きハイタッチ”などがありました。

II. 52人の障害診断名

自閉症の子は38人、その内知的障害を伴った自閉症は30人で38人中の79%という多さでした。

知的障害の子は8人で自閉症を伴っている知的障害の子30人と合わせると38人でした。

自閉症でも知的障害でもない子は6人、その内訳は言語遅滞4人、発達性協調運動障害1人、健常児1人でした。

知的障害を伴った自閉症の子は自閉症の内の79%という高い率でした。また、自閉症の子38人は全52人中の73%で、知的障害の子も同じく38人で率も同じく全体の73%でした。

逆向きバイバイをする子は自閉症の子に多いのは確かですが、知的障害の子でも自閉症の子と同じくらいいる事が判明しました。

逆向きバイバイは自閉症特有とは言いきれず、知的障害の子でも多くする事が分かりました。

III. 逆向きバイバイをし始めた時の発達年齢

逆向きバイバイは知的障害でも認められたため、出現した時の暦年齢ではなく発達年齢で検討する方が発達の姿を正確に把握できる事に成りますのでそうしました。なお、発達年齢の算出は新K式発達検査に依りました。

発達年齢と言うのはその子の知的発達の到達点を年齢で表しています。例えば、5歳の子が3歳相当の知恵の発達段階であったなら発達年齢は3歳となります。

本稿の子ども達が逆向きバイバイをし始めた時の発達年齢は、9ヵ月から2歳4ヵ月に渡り、平均1歳半でした。

IV. 逆向きバイバイが普通バイバイに成った子

逆向きバイバイをした子の内、普通バイバイに成長した子は35人（52人の67%）でした。

普通バイバイに成った時を確認できた子の発達年齢の平均は2歳2ヵ月、最も遅かった子の発達年齢は3歳11ヵ月でした。

逆向きバイバイは発達年齢4歳までには普通バイバイに変わる事が示唆されました。

V. 逆向きバイバイから普通バイバイへの道

普通バイバイに成った子の内 66%の子は、普通バイバイが確立するまでの間に普通バイバイと逆向きバイバイの様々なバリエーションを示しながら数カ月から1年半ぐらいの時間を掛けていました。

普通バイバイに成った子の内、特に試行錯誤していた3人を以下に示します。

1) ある子は、逆向きバイバイ→手刀バイバイ→手招きバイバイ→普通バイバイ→逆横前後バイバイ→手招きバイバイ→普通バイバイ→ハイタッチ→普通バイバイ、の経過を取りました。

2) 別の子は、逆向きバイバイ→逆横向きバイバイ→手招きバイバイ→普通バイバイ→逆向きバイバイ→逆下向きバイバイ→逆向きバイバイ→普通バイバイ、の順でした。

3) 普通バイバイに成るのに最も時間を要した子は、逆向きバイバイ→手招きバイバイ→逆向きバイバイ→手招きバイバイ→逆向きバイバイ→普通バイバイ→逆向きバイバイ→逆横向きバイバイ→手招きバイバイ→逆向きバイバイ→手招きバイバイ→シュッポシュッポバイバイ→ハイタッチ→逆下向きバイバイ→ハイタッチ→手招きバイバイ→ハイタッチ→普通バイバイ、と紆余曲折の長い経過を取りました。

VI. まとめ

逆向きバイバイは自閉症の子のみがするわけではなく、知的発達がゆっくりな知的障害の子でも結構見られることが判明しました。

子どもたちのバイバイ手振りには様々なバリエーションがあり、独創的なさよなら挨拶をしている子もたくさんいました。

障害児と言われる子では様々な想像力溢れた独特の行動をしますので、大人はそれぞれの子のいわば“おれ流”を一度認めてから関わって行くと発達を促す事ができます³⁾。

引用文献

- 1) 杉山登志郎：自閉症の内面世界．精神医学 34:570-584, 1992
- 2) 黒田吉孝、加藤幸彦：自閉症幼児の身振り動作「バイバイ」の獲得と手の平を内に向けた「逆向きバイバイ」の出現について．人間発達研究所紀要 17:26-33, 2005
- 3) 石川 丹：子育て親育ち読本～子どもの好ましい行動を育てるための親力アップを目指して“好い事作り療法”からのお薦め～．札幌：楡の会発達研究センター出版部, 2013.